

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		共生型サービス事業所ひよしの家		公表日		2026年 3月 26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	高齢者との共生型サービスのため定員は2名としている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	常に職員が付いていることは難しいが、こどもが何か発信した際はつけるようにしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	小規模の事業所のため、広さや構造化には限界があるが状況に応じて配慮している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	個室を使用してもらっている他、高齢の利用者の生活スペースでも過ごせるようにしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	個室を使えるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	定期的にモニタリングを行い、目標達成や課題について話し合い、活動計画に反映している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	サービス評価で頂いた、ご意見を参考に改善にむけている。	保護者の意向を把握しきれていなかった。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	モニタリングや朝礼など、必要時に話し合い改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	8		第三者による外部評価は行われていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	4	研修委員を中心に定期的な学習会を予定している。	高齢者介護向けの研修会が多く、発達支援やこどもに対する研修は、あまり行う事ができていない。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	作成・公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	モニタリングを中心に行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	ミーティングやモニタリングを通し、意見を出し合い検討、共有し計画を作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	プランに基づき行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	7		アセスメントツールは使用していない。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	本人支援については、5領域をふまえ支援内容を検討しているが、移行支援や地域支援、地域連携は支援内容として設定していない。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	本人を支援する職員間でミーティングを行い、立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	子供の特性や成長に応じて、作業内容の見直しをおこなっている。また、モニタリング時に今の目標、支援内容が本人の状況に合っているか話合っている。	固定しがちになっている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	5		利用者が2名ということもあるが、個別活動が中心となっている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	9	支援開始前に打合せは行っていないが、役割分担はおおよそ決まっているため連携して支援できている。	毎回の打合せや役割分担などは出来ていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	8	支援終了後に打合せは行っていないが、モニタリング等にて振り返りや気付いた点等、共有している。	気が付があれば共有するが、打合せまでは実施していない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	利用の際は、本人の過ごし方等を記録している。また、活動や変化などはカルテに記入し情報共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	月に1回の頻度で実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	4	多種多様な活動は難しいが、日常生活の動作を中心に設定し本人と相談しながら進めている。	地域交流の活動をする機会がない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	本人と相談し活動を進めている。本人が考て設定し、しっかりと出来た時は褒めて成功体験につなげている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	年間計画は年度初めにいただき、共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	3		現在は行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2	現在ははないが、必要時や要望があれば情報を提供する。	実績なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4	児童発達支援センターではないが、必要に応じて専門機関と連携をとっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	10		交流する機会がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	6	参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	送迎時や連絡帳でのやりとりで、状況は伝え合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	9		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	計画書を説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	1	行っている。	現在その様な相談はないが、必要時は適切に応じ専門機関へとつなぐ。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	9		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	あればすぐに対応するよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	3	連絡帳を活用し情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4	防災訓練の際は地域住民に参加をしてもらい、その後に施設見学を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	各マニュアルを策定し、定期的に訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	定期的に消火訓練、避難訓練等を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0	確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	4	現在是对応の必要な子どもはいないが、必要時には対応する。	現在アレルギーの子供はいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	安全計画を作成し、緊急時対応に関する研修会を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハットが発生した際は、類似したものや本件から更に考えうるものにも対応できるよう共有し、対策に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	定期的に虐待防止に関する研修会を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	3	身体拘束適正化に関する指針と手順を策定している。	計画書への記載はしていない。	